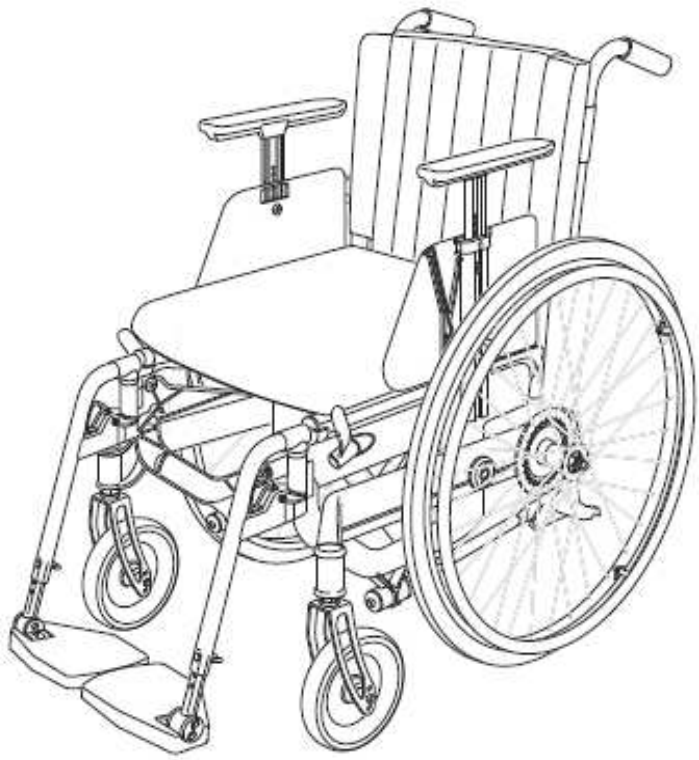
モジュラ車いす（CCTA コード　１２２１３３）

ネクスト取扱説明書



ラックヘルスケア株式会社

コード NO.2012.06

目次

【タイトル】　ページ

１．概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２．輸送方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

３．レボネクスト　パーツ名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

４．レボネクスト　標準仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

５．クイックガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

６．シートのセッティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

７．レッグサポートの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

８．バックサポートの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

９．ブレーキとバランスの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

１０．フロントキャスタ・ハンドリムの調整・・・・・・・・・１６

１１．メンテナンス方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

１２．試験・保証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

１３．シート高・角度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

１４．重量・サイズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

１．概要

この度は車いすレボネクストをお買い求め頂き、誠にありがとうございました。
本製品のご使用前には必ず『取扱説明書』をよくお読み頂き､正しく安全に使用して下さい。
車いすの調整は、販売店もしくは弊社までお問合せください。

使用上のアドバイスやヒントを示しています。

この表記記載事項を守らずに使用した場合、けがなど事故につながる恐れがあります。

〈使用上の注意〉

- ご使用の車いすに問題が生じた際には、販売店もしくは弊社までご連絡下さい。
- 問題が懸念される車いすはご使用にならないで下さい。
- 修理やパーツ取替えの際には弊社指定のパーツをご使用ください。
- 調整後、ゆるみ止めの効果がなくなったネジ及びナットは、弊社指定のパーツに交換してください。
- 指定された以外のパーツをご使用の場合、安全性､機能性の保証はいたしかねますのでご注意下さい。

レボネクストは屋内・外両方のご使用を目的として作られた内外対応型の車いすです。
ＩＳＯ７１７６とスウェーデン・ハンディキャップ・インスティテュートにおいて
テストされており、その品質を保証されています。

耐久テスト

エタック社の車いすはスェーデン試験調査機関における耐久テストと
ＩＳＯ７１７６～１９と１０５４２に基づく試験・認証を受けています。
これらのＩＳＯ基準は、車いすの使用上の安全性、乗用車内での使用中の安全性に関して品質を保証するものです。

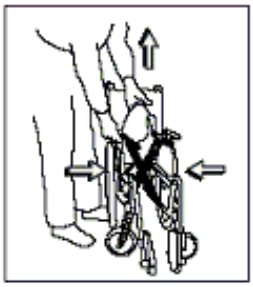
製造元：ETAC（スウェーデン）

座幅：４０cm
座の奥行：３７～４２ｃｍ　**使用者最大体重**：約１３５ｋｇ
前座高：４０～50ｃｍ調整可能　　（シート角が後方0°設定時）
バックサポート高：30～45ｃｍ調整可能
プッシュハンドル：高さ調整可能（工具不要）
駆動輪：クイックリリース方式
調整に使用する工具：５mm六角レンチ　１本　　24mmスパナ　　１本
（メンテナンス等の場合、他の工具が必要となる場合があります）

２．輸送方法

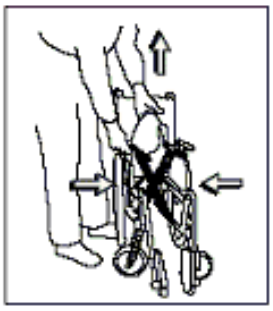
１　折り畳み方

右図のようにフットプレートを跳ね上げ、
座面シートを持ち上げて下さい。



２　広げ方

右図のように片側のフレームを手のひらで
下向きに押して下さい。



シートを広げる際に手を挟まないようにご注意下さい。
握ったまま行うと手を挟み、けがをする恐れがあります。

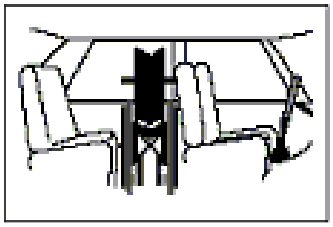
３　持ち上げ方

１の方法で折りたたんだ後、プッシュハンドルと
レッグサポートを持ち上げて下さい。

持ち上げる前に、プッシュハンドルとレッグサポートが
しっかりと固定されているか確認して下さい。

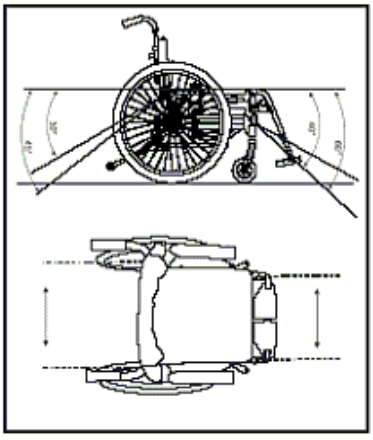
４　車での輸送方法

乗用車/タクシー：車いすを折りたたみ、
トランクに収納して下さい。
後部座席に収納する場合は、動いたり倒れたりしないように
固定して下さい。
可能であればシートベルトで車いすを固定して下さい。



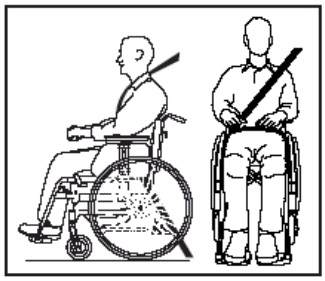
５　車内での固定方法

固定ストラップは右図に示されている角度にて固定して下さい。
固定ストラップは本体フレームに使用して下さい。
決してスポークの間を通したり、バックパイプにかけて留めない
でください



６　シートベルトの使用方法

車いすに乗ったまま車で移動する場合、
車内のシートベルトを利用することをお薦めします。
その際は必ず右図のようにベルトを装着して下さい。



７　車での移動方法

車で移動する際、次のことをお薦めします：

― 車の座席に移乗し、車内のシートベルトを使用して下さい。

― 車いすに乗ったまま車で移動する場合、ベルト類メーカー推奨の使用方法に従い、
進行方向に座って車いすとユーザーの体をベルトでしっかりと締めて下さい。

― 車いすのバックサポートの高さはユーザーの肩か肩より高くして下さい。

― パーキングブレーキをかけて下さい。

― 転倒防止装置を下げて下さい。

８　車での移動･･･注意事項

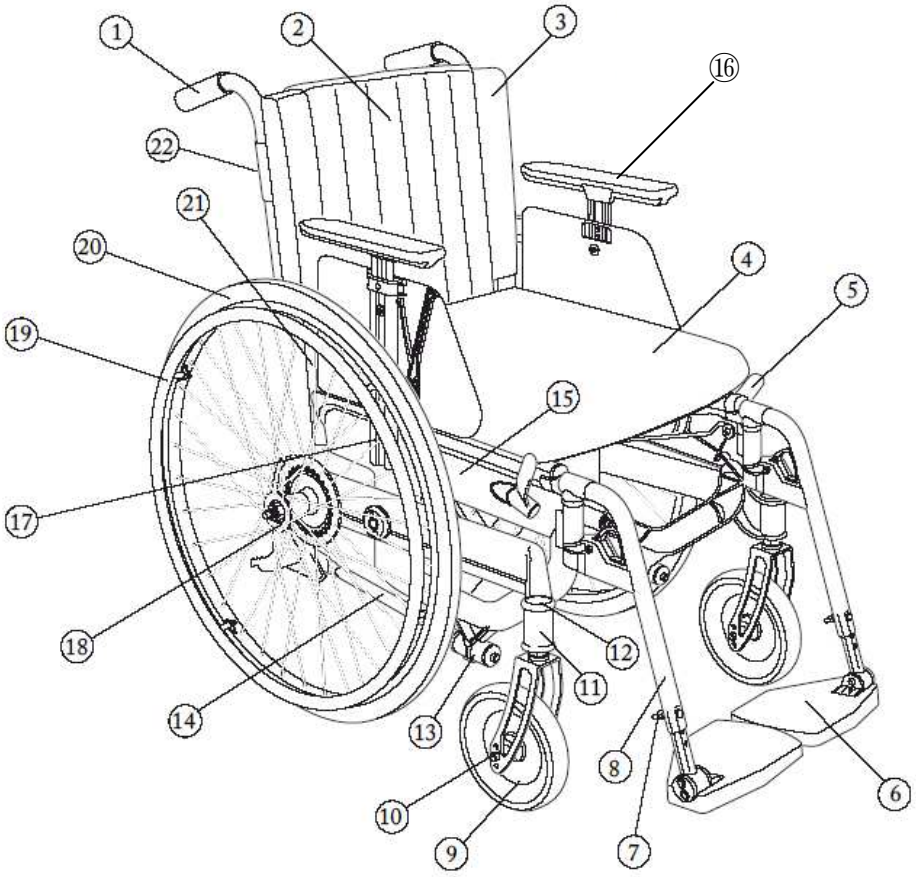
車での移動の際は以下の点に注意してください。不明な場合は販売店もしくは
弊社までお問い合わせください。

― 自動車の突然のブレーキ作動時に危険ですので、車いすのポジショニングベルトは
ご使用にならないで下さい。

― 固定ストラップは本体フレーム部に使用して下さい。

― 容易に取り外しのできるテーブルなどのオプションパーツ類は
走行中車内で外れる可能性がありますので、安全の為取り外して下さい。

３．レボネクスト　パーツ名称



1　プッシュハンドル
2　バックサポートカバー
3　バックサポート
4　シート
5　ブレーキ
6　フットサポート
7　レッグサポート高さ調整ネジ
8　レッグサポート
9　フロントキャスタ
10　キャスタフォーク
11　キャスタフォークアタッチメント
12　アタッチメントカバー
13　ショックアブソーバー
14　ロッド
15　フレーム
16　アームサポート
17　アームサポートアタッチメント
18　車軸　（クイックリリース）
19　ハンドリム
20　駆動輪
21　バックサポートフレーム
22　プッシュハンドル用高さ調整ネジ

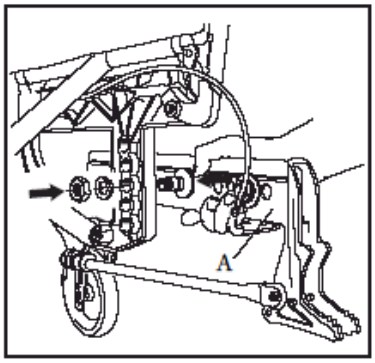
４．レボネクスト　標準仕様

標準モデル
＊　シート 高さ、角度調整可能 シート高：駆動輪・キャスタフォーク；フロントキャスタを変更せずに 10cm 調整可能 シート奥行：５ｃｍ調整可能 フロントキャスタ：５インチの汎用型仕様
＊　駆動輪 22 インチ　ソリッドタイヤ クイックリリース式車軸 アルミハンドリム
＊　バックサポート 高さ､角度、背張調整可能 プッシュハンドル：高さ調整、取り外し可能
＊　レッグサポート ロック可能、着脱可能 ＊　フットサポート 跳ね上げ可能 高さ調整可能 前後位置・角度調整可能

５．クイックガイド

車いすの調整経験がある方を対象としたクイックガイドです。
詳細は６～１０章をご参照下さい。
＊　車いすの調整は販売店もしくは弊社までお問合せください。

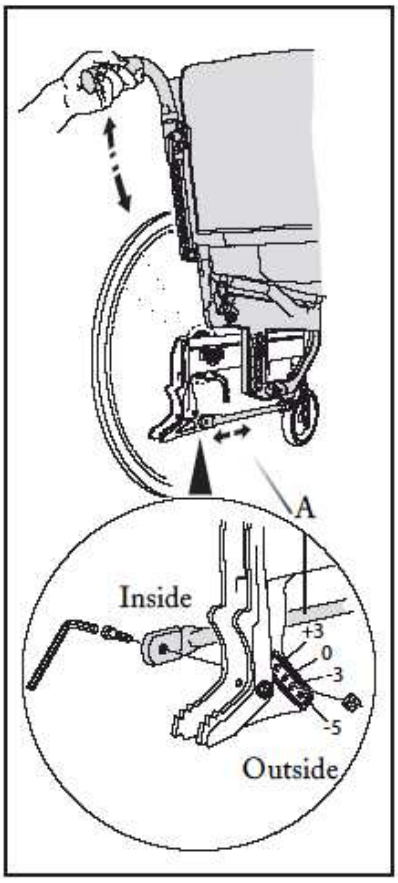
１　シート高



シート高は駆動輪・キャスタフォーク・フロントキャスタを
変更せずに 10cm の調整が可能です。

フレーム両側ブロック（A）のナットを緩めて下さい。
（A）の中央部を握り、取り外して下さい。
高さ位置を選び、（A）をしっかりと取り付けて下さい。
工具：２４mmスパナ
高さ調整の詳細は７章３をご参照下さい。

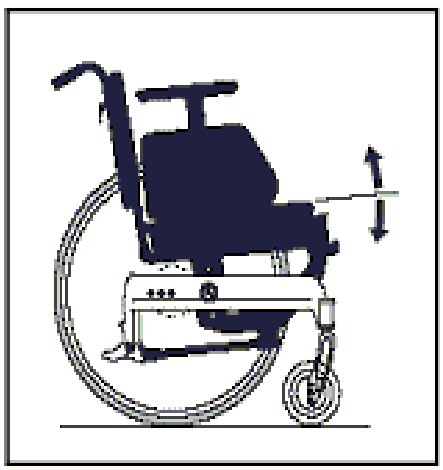
２　シート角度



シート角度はセットポジションを利用することで調整できます。
－５°、－３°、０°、＋3°

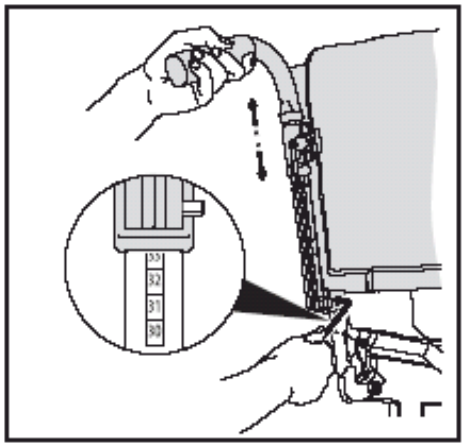
両サイドのロッド（A）を固定しているネジを緩めて下さい。
片方のプッシュハンドルを握り、シートユニットを上方または
下方に動かして下さい。
必要なシート角を選び、ロッドを固定して下さい。
工具：５mm六角レンチ

ゆるみ止めの効果がなくなったネジ及びナットは、
新しいパーツに交換してください。



前座面高はシート角度調整によって変わります。
シートが水平の状態から始め；
＋３°　（シート角後傾）：前座面高は１５mm上がります。
－５°　（シート角後傾）：前座面高は３０mm上がります。
－3°　（シート角前傾）：前座面高は１５mm下がります。

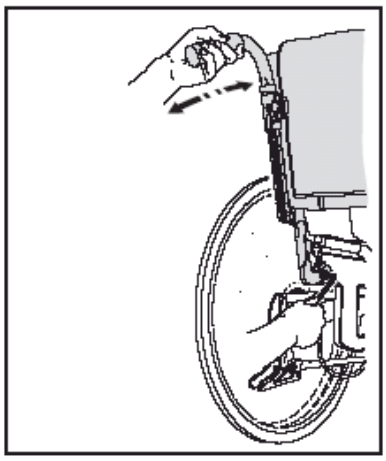
３　バックサポート高



３０～４５ｃｍまで無段階調整可能です。

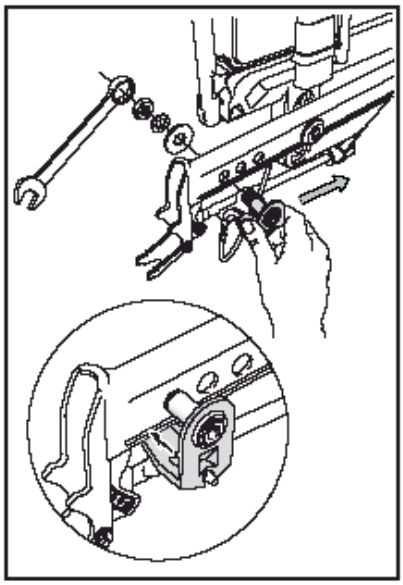
バックサポートチューブ内側のネジを
２，３回転緩めて下さい。
バックサポートを上方に引き上げるか、
下方に押し下げて高さ調整して下さい。
工具：５mm六角レンチ

４　バックサポート角度



−5°から 15°まで無段階調整可能です。
バックパイプを片側ずつ調整して下さい。
バックパイプ固定ネジをフレーム内側から緩めて下さい。
必要な角度にあわせ、ネジを締めて下さい。
工具：５mm六角レンチ

５　駆動輪位置調整



駆動輪位置は３箇所調整可能です。

ブロック内側のナットを緩めて下さい。
駆動輪の位置を変えてもブレーキの効きが変わらないよう、
ブレーキワイヤーは取り付け位置から角度が柔軟に変わる構造です
ブロックからアタッチメントを外し、
取り付けたい位置に付け替えて下さい。
右図の通り、アタッチメントをしっかりと取り付けて下さい。
工具：24mmスパナ

〈注意〉ブロックの溝にアタッチメント下部の凸部を
ひっかけて下さい。

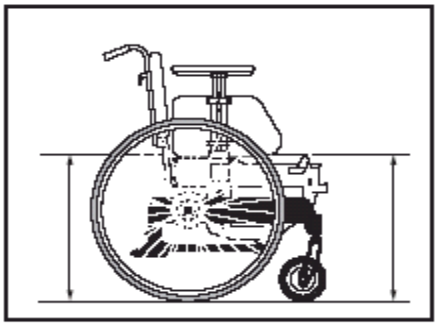
調整によっては車いすが後方へ転倒する危険性があります。
転倒防止装置を使用して下さい。

＊調整方法の詳細は６章をご覧下さい。

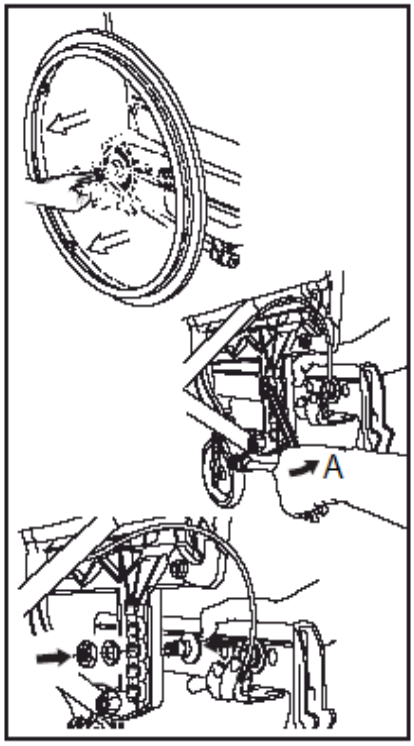
６．シートのセッティング

１　シート高

シート高は駆動輪、キャスタフォーク、フロントキャスタの
調整をせずに 10cm 調整できます。



フロントキャスタのサイズはユーザーの駆動方法によって
選定してください。シート高の調整の為に変更する必要はありません。



２　シート高調整

駆動輪の車軸中央ボタンを押しながら引き抜いて下さい。
ブロック内側のナットを外して下さい。
ブロック中心部を握り、引っ張って外して下さい。
高さ位置を選び、取り付けてナットを締めて下さい。

工具：24mmスパナ

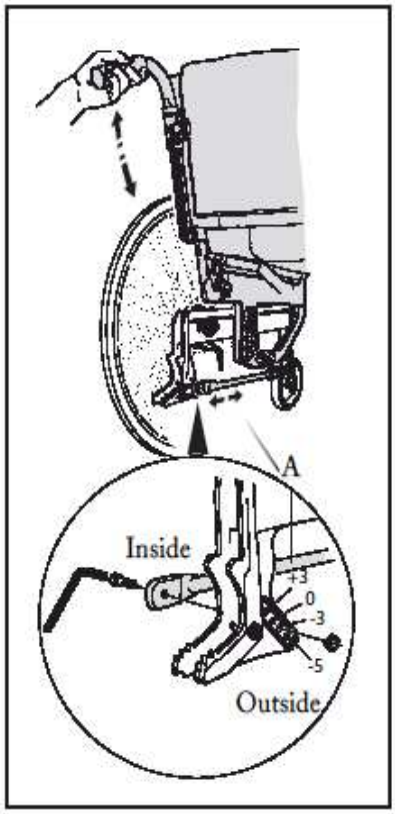
３　シート角度

シート角調整は前座高に影響します。（１３章参照）
キャスタフォークアタッチメントは固定されているので、
調整不可能です。

フロントキャスタの位置は指定の場所に
設定してください。（１０章７参照）

４　シート角度調整

シート角は　－５°、－３°、０°、＋３°　の調整が可能です。



図Ａのネジを緩めて下さい。
プッシュハンドルを握り、シートユニットの角度を調整して下さい。

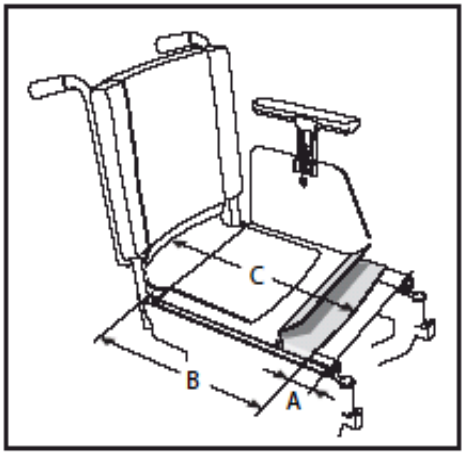
調整したいシート角度にあわせてロッドを固定して下さい。
右図の通り、四角型ナットは外側に固定して下さい。
工具：5mm 六角レンチ

ゆるみ止めの効果がなくなったネジ及びナットは、
新しいパーツに交換してください。

前座面高はシート角度によって調整できます。
シート角度０°を基準とし、
＋３°（座角　前傾）…シート前方から 15mm 低くなります
－３°（座角　後傾）…シート前方から 15mm 低くなります
－５°（座角　後傾）…シート前方から 30mm 高くなります

５　シート奥行調整

シートの奥行は図中Ａのようにシート前部分を前方
または後方に動かして調整できます。
３７～42 ㎝（図中Ｂ：バックサポートチューブ～シート端）

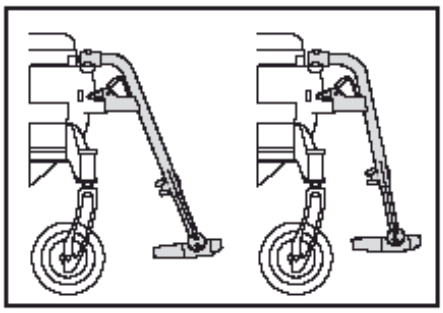


７．　レッグサポートの調整

シーティング機能上の奥行（図中Ｃ）は
バックサポート張調整の状態によって変わります。

１　レッグサポート

レッグサポートはロック・脱着・スィングアウト/イン可能です。

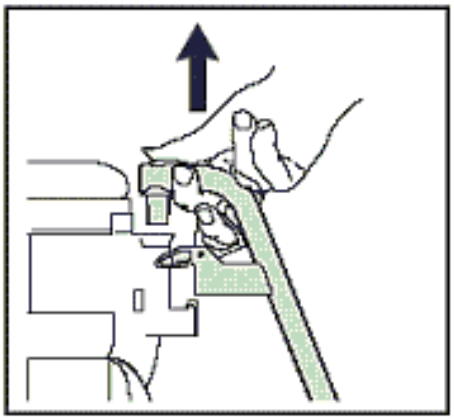


２　レッグサポート

５インチと６インチ（オプション）のフロントキャスタが
使用可能です。

３　レッグサポート　ロック機能

レッグサポートを取り外す際は
右図のようにレバーを引きながら外して下さい。
取り付け時はロックがされたことを確認の上，
使用して下さい。



４　レッグサポート

レボネクストの標準フットサポートは跳ね上げ式で、高さ・角度・奥行調整が可能です。
フットサポートを長くしたい場合は、オプションパーツとして標準タイプより長い
フットサポートチューブがご利用頂けます。

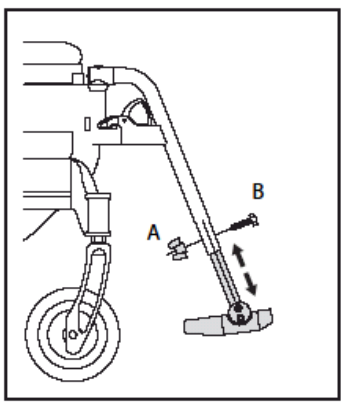
屋外での使用時には、フットサポートと地面の間を最低４～５ｃｍ空けて下さい。

転倒の危険性がありますので、フットサポートの上に立たないで下さい。

５　フットサポート　ー高さ調整

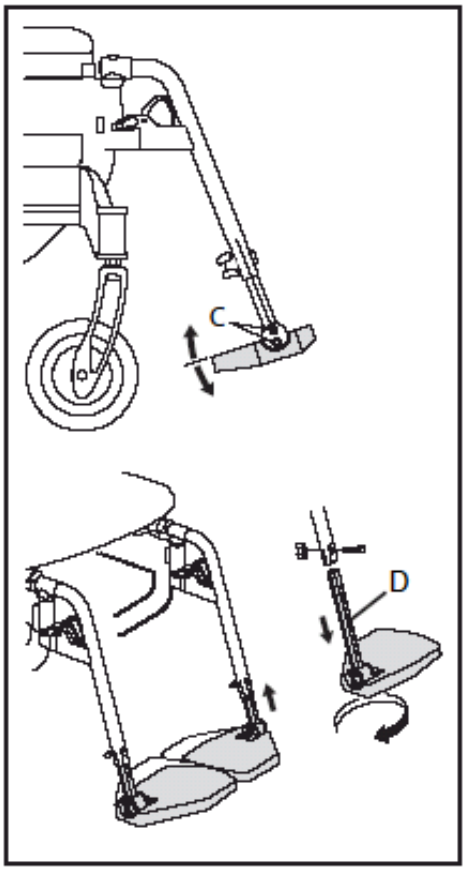
フットサポートは２ｃｍ間隔で高さ調整が可能です。

右図中Ａのウィングナットを緩めて下さい。Ｂのネジを抜いて下さい。
高さを調整した後、ナットとネジを取り付け、しっかりと締めて下さい。



６　フットサポート　ー角度・奥行調整

フットサポートは角度調整と２種類の奥行調整が可能です。



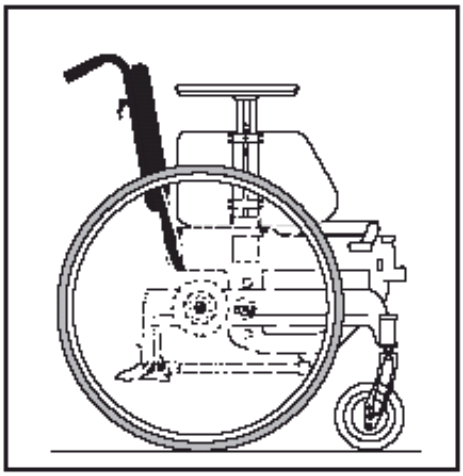
角度：ネジＣを半回転から３/４回転緩めて下さい。
　　フットプレート角度調整後、ネジを締めて下さい。

工具：５mm六角レンチ

奥行：フットサポートチューブ（D）はフットサポートの
　　１/３前方側に付いていますので、左右を付け替える
　　ことでフットサポートを前方に出すことになります。
　　フットサポートチューブを取り外し、
　　左右に付け替えて下さい。
　　フットサポート角度を調整して下さい。

工具：５mm六角レンチ（フットサポート角度調整時）

８．バックサポートの調整

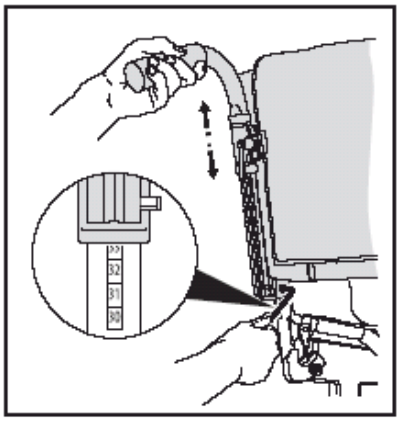


１　バックサポート

バックサポートは高さ・角度・張調整が可能です。
プッシュハンドルは高さ調整が可能です。

転倒の危険性がありますので
バックサポート調整時は常に転倒防止装置を
使用して下さい。

２　バックサポート高



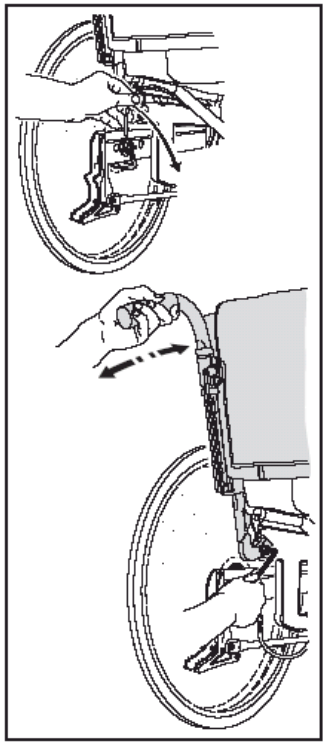
バックサポート高は無段階で30～４５ｃｍの調整が可能です。

バックサポートチューブ内側のナットを２，３回転緩めて下さい。
バックサポートを上方/下方に高さ調整して下さい。

バックサポートチューブの目盛りを参考に、
左右の高さが同じになるよう確認して下さい。
ネジを締めて下さい。

工具：５mm六角レンチ

３　バックサポート角度

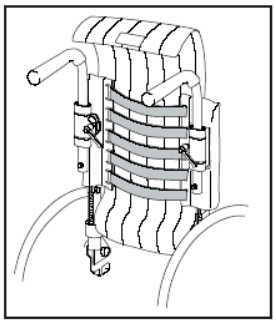


バックサポート角度は無段階で**－５°から１５°**まで
調整が可能です。
バックサポートは１本ずつ調整して下さい。
バックサポート・ジョイント部内側のネジを緩めて下さい。
角度を決めた後、ネジを締めて下さい。
もう１本のバックサポートも同様に調整して下さい。

工具：５mm六角レンチ

転倒の危険性がありますので、
バックサポート角調整時は常に転倒防止装置を使用して下さい。

４　バックサポート　カバー

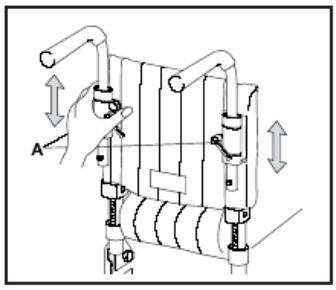


バックサポートカバーの形状は、５本のベルクロストラップと
カバーを利用して変えることができます。

・バックサポートカバーを外してください。
・全ストラップを緩めて、ユーザーにできるだけ奥深く座って頂きます。
・ユーザーの背中の形状に沿わせてストラップを締め、
　背中のカーブにあわせてサポートして下さい。
・背張り調整の形状を損なわないようにバックサポートカバーを取付けてください。
・ご利用者様の身体状況により背張り調整が異なりますので、専門家にご相談頂くことを
　お薦めいたします。

転倒の危険性がありますので背張調整時は常に転倒防止装置を使用して下さい。

５　プッシュハンドルの高さ調整



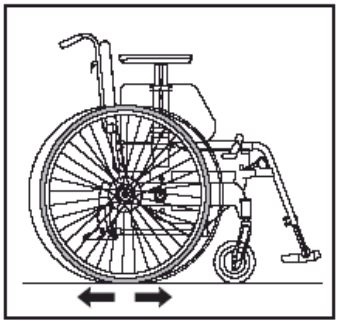
プッシュハンドルは２ｃｍ毎の高さ調整が可能です。

Ａのレバーを緩め、赤いプラスチックワッシャーを内側に押して下さい。
適切な高さに調整し、レバーを締めて下さい。

調整後は必ずレバーを締めて下さい。
レバーを締めずに車いすを動かすと破損や事故につながる恐れがあります。

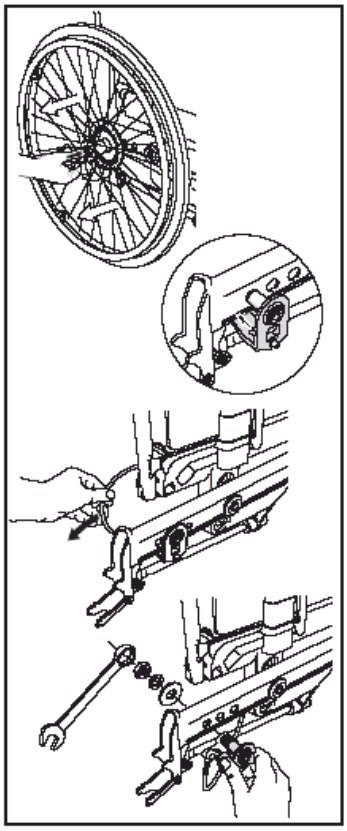
９．ブレーキとバランスの調整

１　バランスセッティング



バランスは駆動輪、シート角、バックサポート角、
ユーザーの使用状況（体重の分散状況）によって変わります。
バランスセッティングは車いすの機能に大きく影響します。
重心が駆動輪に近づくほど駆動しやすく、キャスタに近づくほど
駆動しにくくなります。

２　駆動輪ーバランス調整



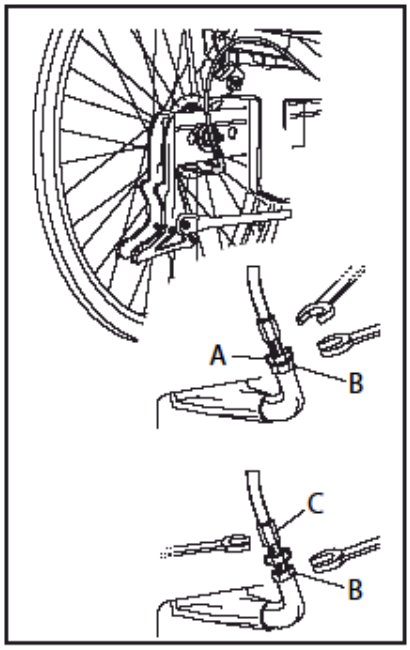
駆動輪は３箇所調整可能です。

車軸中心ボタンを押しながら駆動輪を外して下さい。
ブロック内側のナットを緩めて下さい。
ブレーキワイヤーは取り付け位置から角度が柔軟に変わる構造です。
アタッチメントを外し、取り付け位置を変えて下さい。
ワッシャー、ナットをアタッチメントに図のように取り付けて下さい。

〈注意〉ブロックの溝にアタッチメント下部の凸部をひっかけて下さい。
ブレーキ調整は必要ありません。
工具：24mmスパナ

駆動輪のバランス調整を行った際には、
転倒防止装置が正しく作動するか必ず確認して下さい。

３　ブレーキ　ー　ブレーキワイヤー調整



ブレーキは駆動輪のサイズや位置を変更しても
調整する必要はありません。
ブレーキ調整が必要な場合は、ブレーキワイヤーの
長さを変えることで調整可能です。
ナットＡを緩めると、ナットＢが調整できます。
ナットＢを緩めるかもしくは締めることで、ブレーキピンが
駆動輪に接触しなくなります。
その時にハウジングエンドＣを固定して下さい。
ブレーキの効きを確認して下さい。

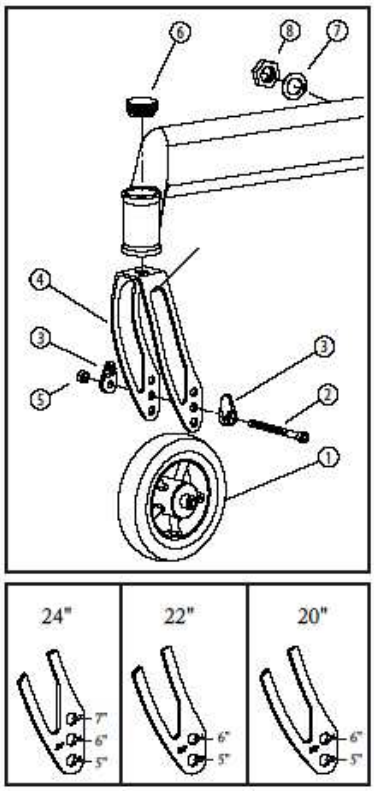
時計方向にナットを回す：ピンは内側に入ります。
時計と反対方向にナットを回す：ピンは外側に出ます。

工具：８mmスパナ、１０mmスパナ

ブレーキ調整後にメインホイールを回転させ、ブレーキピンとメインホイールが
干渉していないことを確認してください。干渉している場合、金属音がしますので
ブレーキの再調整を行ってください。

１０．フロントキャスタ・ハンドリムの調整

１　キャスタの取り替え



レボネクストの標準のフロントキャスタは５インチです。
キャスターサイズを交換する場合は、現在取り付けてある
フロントキャスタのネジとナットを緩めて外して下さい。
キャスターサイズによって、フロントフォークの決められた
位置に取り付けてください。

工具：５mm六角レンチ

２　ハンドリム

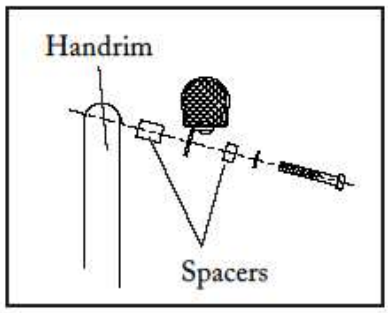
レボネクスト標準仕様のハンドリムはアルミニウム製です。
材質と駆動輪・ハンドリム間の距離はユーザーの使用状況に影響します。

幅が狭い場所では指のけがやスポークへの指の挟み込みの危険性があります。また、
スポークへ指を挟み込む危険性がある場合はスポークガードの使用をお薦めします。

３　ハンドリムの距離調整

スペーサーを追加または取り外すことにより、
駆動輪とハンドリム間の距離を調整できます。

工具：４mm六角レンチ



１１．メンテナンス方法

〈カバー〉

カバーは２種類の素材でできています。
座面シートはシートチューブに差し込まれています。
チューブキャップのネジを緩めて、シートを取り外すことが可能です。
バックサポートを取り外す際は、まず手押しハンドルアタッチメントのネジを緩め、
バックサポートを引き上げて下さい。

座面シートとバックサポートは洗濯機で４０℃までの温水洗浄が可能です。

〈駆動輪・フロントキャスタ〉

タイヤ：タイヤ溝は少なくともーヶ月に一度は確認して下さい。
スポーク：スポークの緩みはホイールのがたつきにつながります。
　　スポークの調整ができる代理店にメンテナンスを依頼して下さい。
車軸：毛髪やホコリを取り除いて下さい。
ボールベアリング：メンテナンス不要です。注油はしないでください。
ハンドリム：ハンドリムの傷でユーザーがけがをする危険性があります。
　　傷があれば交換して下さい。

〈ブレーキ〉

汚れがひどい場合はブレーキの効きが悪くなる可能性があります。
使用前には必ず正常に作動するか確認して下さい。
ブレーキ調整が必要な場合は９章３をご覧下さい。
メインホイールを回転させた際に金属音がする場合は、メインホイールとブレーキが干渉している可能性がありますので、ブレーキの再調整をしてください。

〈フレーム洗浄〉

快適に使用していただく為、フレーム洗浄は行って下さい。
車用洗剤、中性洗剤がご使用頂けます。
残水を防ぐ為、排水穴が開けられています。

駆動輪およびフロントキャスタのベアリングに潤滑油等の使用は、決して
しないでください。ベアリング内部のグリースが溶けて、キャスタの動きが
悪くなる恐れがあります。

【トラブルシューティング】

車いすがまっすぐに進まない	― 駆動輪が正しく取り付けられているか 確認して下さい。 ― ユーザーの体重が不均等にかかっていないか 確認して下さい。
車いすが操作しづらい	― 駆動輪が正しく取り付けられているか 確認して下さい。 ― キャスタに毛髪や埃等、付着していないか 確認して下さい。 ― キャスタに体重がかかりすぎていないか 確認し、ユーザーの重心バランスをとって下さい。
車いすの回転動作が重く、しづらい	― キャスタに毛髪や埃等、付着していないか 確認して下さい。 ― キャスタに体重がかかりすぎていないか確認し、 ユーザーの重心バランスをとって下さい。
ブレーキが効かない	― ブレーキワイヤーの長さ調節をして下さい。 （１０章３参照）
メインホイールから金属音がする	― ブレーキワイヤーの長さ調節をして下さい。 （１０章３参照）
駆動輪の脱着がしづらい	― 駆動輪の車軸に潤滑油を塗って下さい。
キャスタががたつく	― キャスタフォークのネジが十分に締められているか 確認して下さい。 ― キャスタに体重がかかりすぎていないか確認し、 ユーザーの重心バランスをとって下さい。
折り畳みにくい　広げにくい	― バックサポートカバーをきつく締めすぎていないか 確認して下さい。 ― クロスフレームの連結部の汚れをとり、 潤滑油を塗って下さい。
車いすが不安定に感じる	― 全てのネジ・ナット・ボルトが締まっているか 確認して下さい。

車いすが正しく調整されていない場合、または正しい駆動方法でない場合に上記の問題が起こる可能性があります。

１２．試験・保証

レボネクストは屋内外両用として認証され、CE マークを取得しております。
使用者体重制限は約１３５ｋｇです。

機能・品質性は国際品質規格である ISO７１７６に沿って試験され、
スウェーデン・ハンディキャップ・インスティテュートにおいて保証されています。

CE マークについて
商品はヨーロッパ品質基準に沿って総合的に試験評価されています。
商品はスェーデン国内と国際 MDD（公的医療用品）の基準を満たすものとして
保証されています。

保証
フレーム本体について１年
保証は日本国内にのみ適用されます

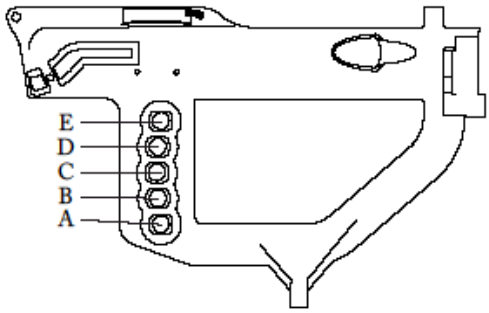
保証外
記載する取り扱い方法や調整方法に過誤があった場合。
車いすに改造を加えた上でのご使用。
当社の保証期間外。
タイヤ、キャスタ等の消耗部品。

１３．シート高・角度

シート高、シート角度の調整については６章２～５をご覧下さい。

シート角度０°調整時のシート高

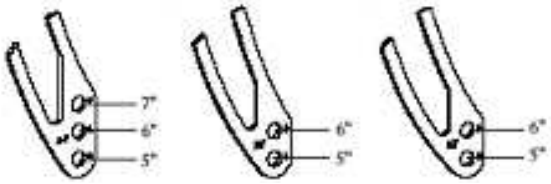
	24 インチ	22 インチ	20 インチ
E	42,0 cm	40,0 cm	38.0cm
D	44,5 cm	42,5 cm	40.5cm
C	47,0 cm	45,0 cm	42,5 cm
B	49,5 cm	47,5 cm	45,0 cm
A	52,0 cm	50,0 cm	47,5 cm



サイズは計測具合によって±１cm 程の差が出る場合があります。

フォーク		キャスタフォーク	
24 インチ	7インチ＝ 175×45mm	６インチ＝ 150×30mm	５インチ＝ 125×30mm
22 インチ	――――	６インチ＝ 150×30mm	５インチ＝ 125×30mm
20 インチ	――――	６インチ＝ 150×30mm	５インチ＝ 125×30mm

24 インチ　　22 インチ　　20 インチ



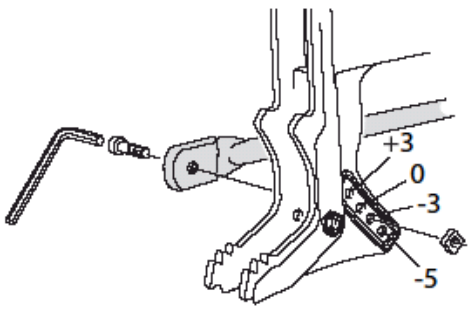
キャスタのサイズによってフォークへの
取り付け位置が異なりますので、
お気をつけ下さい。
取り付け位置に誤りがありますと
駆動に影響を及ぼすほか、
がたつきにもつながります。

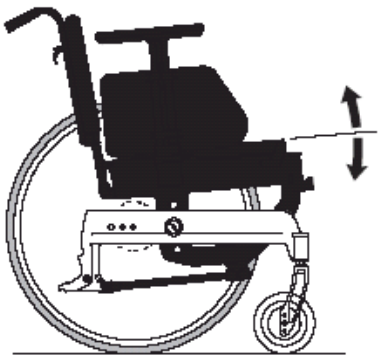
駆動輪のサイズによってキャスタフォークのサイズが異なります。

シート角調整方法

前座面高はシート角によって調整できます。

シート角０°を基準とし、＋３°（座角　前傾）…シート前方から 15mm 低くなります
－３°（座角　後傾）…シート前方から 15mm 高くなります
－５°（座角　後傾）…シート前方から 30mm 高くなります





１４．重量･サイズ

タイプ 座幅	シート奥行	シート高	バック サポート高	全幅	折り畳み幅	総重量
40 cm	37-42 cm	40-50cm	30-45 cm	60 cm	30 cm	約 20kg

＊シート奥行：バックサポートチューブ～シート前端

＊総　重　量：駆動輪、レッグサポート、アームサポート、転倒防止装置、プッシュハンドル含む

＊計測時仕様：２２インチ駆動輪、アルミニウム製ハンドリム、バックサポート　－3°

アームサポート、レッグサポート、転倒防止装置、高さ調整付プッシュハンドル

＊重量；サイズは仕様によって異なります

LAC

ラック ヘルスケア株式会社

大阪　〒542-0081
大阪市中央区南船場 2-10-2
TEL：06-6244-0636　FAX：06-6244-0836

東京　〒108-0014
東京都港区芝 4-5-11 芝プラザビル 2F
TEL：03-5419-8050　FAX：03-5419-8051

九州　〒862-0924
熊本市中央区帯山 2-1-23 パークヒル帯山
TEL：096-340-8101　FAX：096-340-8102